



【地方創生はパラリンピック!?】

皆様、いつも「みのエネ」の事業と活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。東京オリンピックに続き、パラリンピックも始まりましたね！

8月号では、私はいつも「オリンピック」や「金メダル」を“自分事”として考えており、「元氣な地域として、美濃を“金メダル”にしたい！」と思っているという話をさせていただきました。

そして、パラリンピックを見ては、「地方創生はパラリンピックだな！」と感じています。パラリンピックは身体障害者、つまり身体的に“ハンデ”を持った人達を対象にしたスポーツの祭典です。でも中には「障害とは思わない（思ってほしくない）」「障害は欠陥ではなく財産」という意味のコメントを残している選手も多くいます。

それでは、私たちの住む美濃市に目を向けてみましょう。

人口減少、少子高齢化、過疎化、空き家問題、公共交通問題、学校統廃合、耕作放棄、、、等々地域としての社会課題という「障害」が多くあります。

しかし、先ほどのパラリンピックの選手たちのコメントに置き換えるとどうでしょうか？これらの障害、つまり「これらの社会課題をどう解決するか？」という事が「価値」になりビジネスになっていくのではないのでしょうか？

そう考えると美濃市は「価値」に溢れています！

パラリンピックの選手が障害を乗り越え、もしくは障害と共に活躍する姿に感動シドラマが生まれるように、美濃市の地方創生も社会課題を乗り越え解決していく姿こそが感動的なドラマになると信じております。そして、その感動的なドラマの主人公は「皆さん」であり「あなた」です。さらに、その皆さんを応援してくれる観客は、他でもありません。皆さんのお子さん達、お孫さん達です！

ぜひ、美濃市の地方創生の感動的なドラマを、未来の世代の希望にしていきたいと思います！

みの市民エネルギー株式会社
代表取締役 辻 晃一



なぜ再生可能エネルギーに変える必要があるの！？

目的

二酸化炭素の削減による環境改善 / 住み続けられる世界を創る

電気が使えなくなる日 が近い！？

- 日本の主なエネルギーは石油、石炭、天然ガス。海外からの輸入に頼り、枯渇すると言われている資源です。
- このままでは数十年もたないうちに電気やガスが使えなくなってしまう可能性が。

大手企業の取り組み

- アメリカではApple
- 日本ではトヨタ自動車が、取引先に対して二酸化炭素の削減を要望
- 中小企業にも脱炭素への取り組みが求められ始めています。

二酸化炭素を出すと税金がかかる！？

- 「炭素税」の導入が検討されています
- 炭素税はCO₂に課金して排出削減を促す方法の一つです
- 環境省が本格導入を要望する方針を固めています

みのエネでも再生可能エネルギーに対応しています。
お気軽にお問合せ下さい

茨城県北茨城市から美濃に地域電力の研修にきていただきました！

茨城県の最北端に位置する北茨城市は人口約4.5万人、およそ16,000世帯と美濃市の約2倍のまち。干芋やあんこうが有名で、なんと！！あんこう鍋発祥の地とも言われているそうです。そんな北茨城市で地域電力を立ち上げたい！とリサイクル事業を行う会社の方から昨年末にご連絡をいただき、半年弱で無事地域電力を設立。その名も「あんこうばわあ」特産物のあんこうを由来にまち創りの支援を行っていくそうです♪7月に研修にご来社いただき貴重なご縁ができました。



<お知らせ>

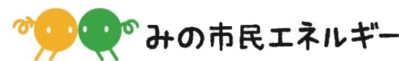
電気代の請求書をペーパーレスにする
毎月の電気代から100円割引に！
環境のためにもペーパーレス始めませんか？

↓お申し込みはコチラ↓



停電の際は中部電管内託送部門 0120-985-232 にお電話ください

現在のご契約件数 226件 371本 5,996kw



みの市民エネルギー株式会社 info@minoene.co.jp
美濃市上条78-7美濃市商工会議所1階 TEL 0575-31-1001